

生産性シンポジウム

サーキュラー・ソサエティの実現に向けて

2022年3月3日

アマタホールディングス株式会社

佐藤 博之

AMITA's Mission

発展すればするほど
自然資本と人間関係資本が増加する
持続可能な社会を創る

社会デザイン事業

ESG・SDGs経営
エコシステム経営推進

資源循環・関係性
プラットフォーム構築

脱炭素・省エネ
気候変動対策支援

自立分散型の地域課題解決
自然資本の利活用

リサイクル・SDGs調達
サーキュラーエコノミー

国際エコラベル
環境認証審査サービス

Designing the future

「未来デザイン企業」

コアコンピタンス

「不確実」から『確実』を創り出す

社会ニーズを市場化する

1980



公害の発生・対策要請と、
金融不況による**調達コストの増大**



天然資源の代替となる**地上資源ニーズ**



変容

不安定な廃棄物を原料に安定した資源を製造

✓100%リサイクル事業

1990



急激な**自然破壊、資源枯渇**の顕在化



環境パフォーマンス向上のニーズ



変容

調達・仕入れのトレーサビリティを評価・認証

✓環境認証審査サービス

2000



環境分野における**法律や国際基準**の強化



環境リスクとコストの最適化ニーズ



変容

リスクコントロールと経営リソースの最適化

✓総合環境ソリューション事業

✓環境管理のクラウドサービス

2020



不安の顕在化と精神的飢餓（孤独）の拡大



社会的な動機性に基づく
サーキュラー・エコノミーのニーズ



変容

もの・情報・人の意識の最適好循環を設計

✓J-CEP



✓MEGURU STATION®

✓循環型事業創出プログラム

地域・企業・社会の課題を統合解決する 「MEGURU STATION®」の開発を加速



地域の4大課題

- ▶ 人口減少
- ▶ 雇用縮小
- ▶ 少子高齢化
- ▶ 社会保障費の増大



企業の課題

- ▶ サーキュラーエコノミーの実践
- ▶ 循環型の事業開発
- ▶ 再生資源の調達
- ▶ プラスチック問題



地球環境問題

- ▶ 資源枯渇
- ▶ エネルギー問題
- ▶ 気候変動

暮らしの
Re・デザイン

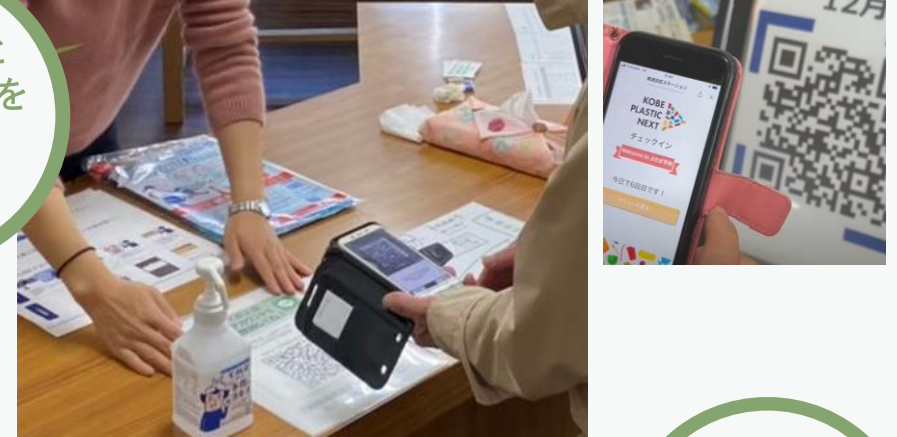
MEGURU
STATION®

“互助コミュニティ型資源回収ステーション” 「MEGURU STATION®」の特徴

家庭ごみの
分別・回収
・資源化



資源循環と
関係性構築を
促進する
ICT活用



地域の
産業創出・
福祉増進に
寄与する機能



住民の
互助共助による
コミュニティ
形成の仕組み



「MEGURU STATION®」の提供価値

実証地域 ▶ 福岡県大刀洗町/兵庫県神戸市/奈良県生駒市/宮城県南三陸町

01 互助コミュニティ機能



子育て・見守り支援



高齢者の見守り支援
世代間交流



地域特産品の販売
新商品モニターなど



自治体

社会保障・福祉費の削減

▶▶ 医療介護・孤独対策・子育て・見守り支援費



個人

安心できる居場所の確保

▶▶ 社会的関係性欲求の充足 & 互助関係の創出



企業

消費動向・資源情報の活用

▶▶ 資源および商品の、需要と供給の最適化

02 資源循環機能



家庭ごみの分別回収



リユース市
ゼロ円ショップなど



メーカーによる
使用済み製品回収



自治体

環境コストの削減

▶▶ 廃棄物の収集運搬費用・焼却埋立費用等



個人

よりエコで快適な生活 & 環境意識向上

▶▶ いつでもごみ出し可能、暮らしのエコ化



企業

事業のCE化 & 調達リスクの低減

▶▶ 自社製品回収による再利用、域内資源調達

都市型モデルのMEGURU STATION®開発&実証実験

地方だけでなく、都市部でも潜在ニーズが顕在化

実証地域 兵庫県神戸市



神戸市立
ふたば学舎

2階

関西第2の都市「神戸市」から業務受託

受託業務名 | 神戸市「令和3年度 プラスチック資源の地域拠点回収モデル事業運営支援業務」

期 間 | 受託期間 2021年6月30日～2022年3月31日 | 実証期間 2021年11月～2022年1月末

概 要

全国初！“コミュニティ活性化機能”を有する、「プラスチック資源に特化した資源回収ステーション」を設置

▶▶▶ 同市のプラスチックの再資源化率向上、
互助・共助のコミュニティづくりに
取り組む

LINE・スタンプカード登録者数

455名

特 徴

- ▶ MEGURU STATION®の都市型モデルの開発事案として位置づけ
- ▶ J-CEP（ジャパン・サーキュラー・エコノミー・パートナーシップ）等、様々な企業や団体が業種や業態の垣根を越えて参画

参加者
アンケート

継続希望
90%
以上

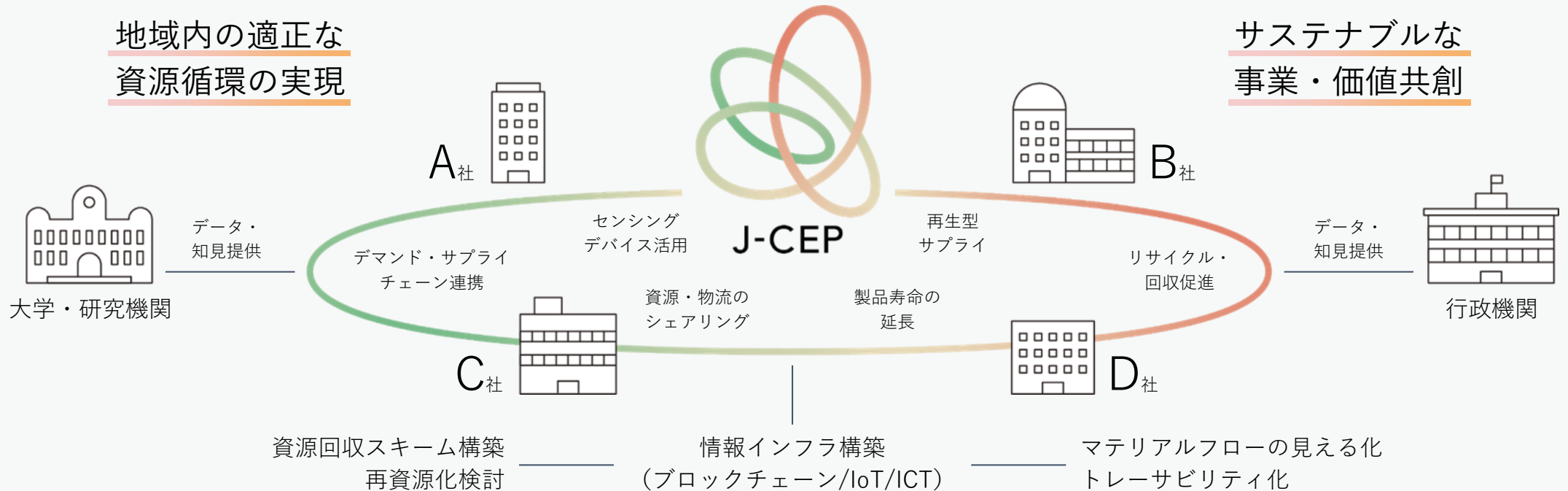
実証終了後も「続けてほしい」という
住民の声を受け、2022年2月以降も
地元のNPO団体が運営を継続

市民に浸透
継続
オープンへ！

2021年10月、J-CEP設立①

概要

持続可能な社会の実現を目指す企業等が、住民・行政・大学等と連携してサーキュラーエコノミーの推進に取り組む新事業共創パートナーシップ
▶▶▶ すべてを資源と捉え「**もの・情報・気持ち**がめぐる社会」をつくる



資源循環

リスクとコストの最適化

情報の再編纂

トレーサビリティ

AMITA

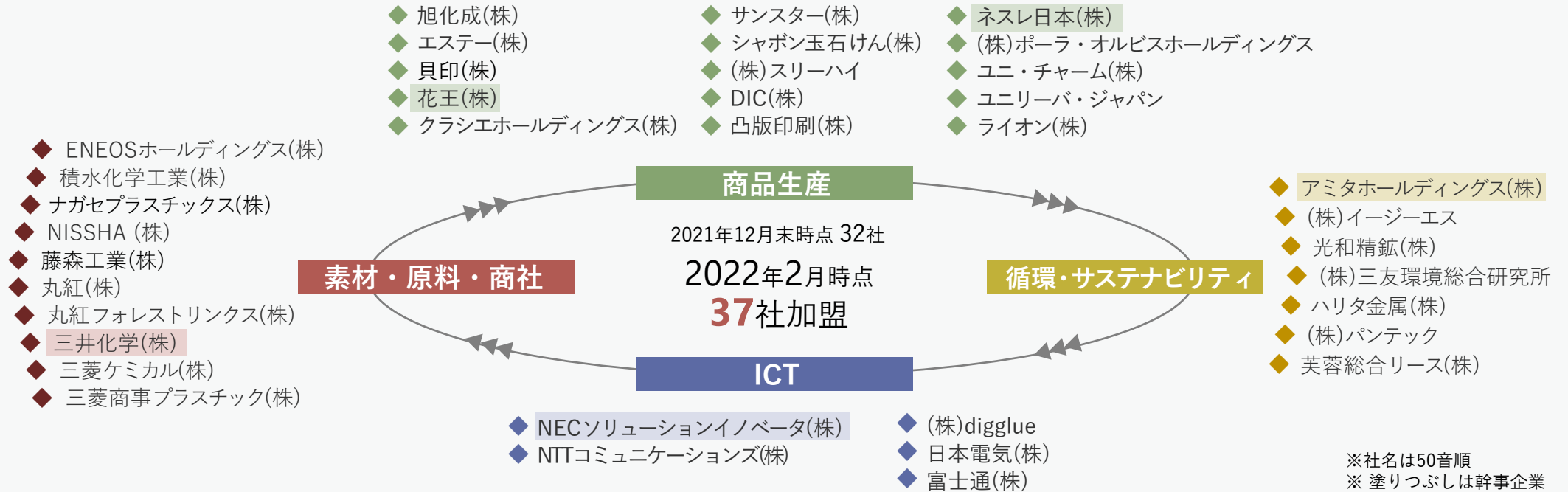
2021年10月、J-CEP設立②

意義

各社が情報・能力・価値を持ち寄り、一社では成し得ない循環経済圏を確立

- 01. 国内における資源の最適循環
- 02. 持続可能社会の実現に資するビジネス創出

▶▶▶ 環境と経済が両立する社会の最適解を導く



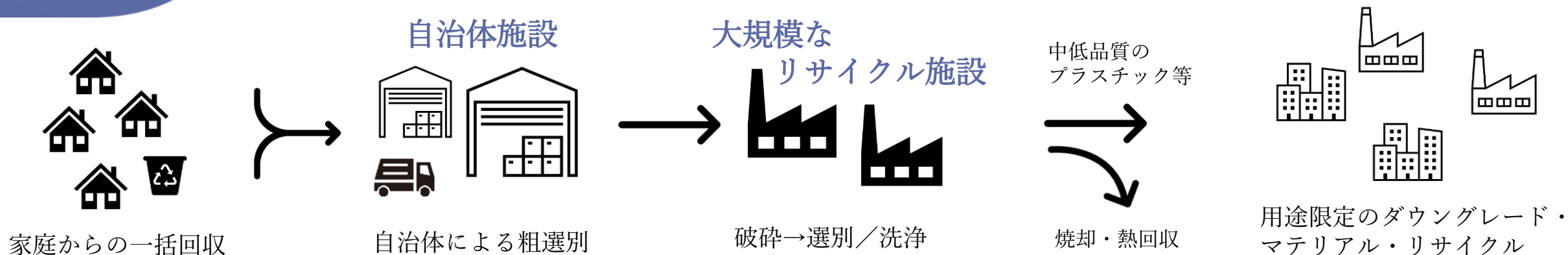
2021年11月~2022年2月現在

兵庫県神戸市

プラスチック資源などの資源回収ステーションでの取り組みに参画

既存型

排出サイド基点の大量リサイクルモデル

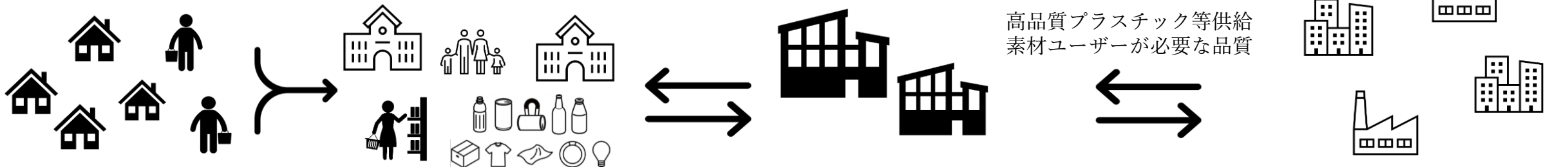


サーキュラー型

需要サイド基点の一貫サーキュラーモデル

MEGURU STATION®

サーキュラーセンター



- ・住民による資源の持込み
- ・素材やアイテムごとの分別

- ・素材ユーザーの需要ニーズで分別
- ・高品質できれいな素材の回収
- ・シェア／リユース／計り売り拠点
- ・世代を超えた地域コミュニティ拠点

- ・選別確認→破碎／洗浄
- ・複合製品の分解機能
- ・リユース容器等の洗浄機能
- ・リペア／リファーマビリティ機能



安心して暮らせる
持続可能な未来を目指して